

## 編集後記

「ドクターイエロー」という新幹線車両をご存知でしょうか。東海道・山陽新幹線の線路を走行しながら、線路の歪みや設備に異常がないかなどを検査する黄色い車両です。10日に1度くらいの頻度で運行するものですが、ダイヤは非公開のため、「見ると幸せになる」と言われることがあります。老朽化を理由に、JR東海は2025年1月末、JR西日本も2027年を目途に引退することが話題となっております。

さて、3月号の特集は、「鉄道建設技術、保線・保全技術」です。我が国の鉄道を取り巻く社会環境として、人口減少や少子高齢化の予測、ユニバーサルデザインの普及、地球環境問題、海外事業への展開など、大きな変化が生じつつあるなか、感染症対策を契機にリモートワークや遠隔授業などが急速に普及するなど、インフラとしての鉄道のあり方にも大きな転換期が訪れようとしています。

一方、公共交通機関としての鉄道への期待は依然として高く、整備新幹線や都市鉄道の整備が着々と進んでいますが、老朽化する既存施設の保全も大きな課題となっております。本

号では、最新の鉄道建設技術・保線技術等を紹介させていただきました。

巻頭言では、政策研究大学院大学名誉教授の森地先生に、「社会の変化に対する鉄道の課題」と題してご寄稿いただきました。我が国が抱える鉄道の課題について、欧米や発展途上国の現状と対比し、その解決策として海外進出による技術力の維持・国際競争力の向上・人材確保といったご提言をいただきました。

行政情報では、国土交通省鉄道局より、「鉄道分野のカーボンニュートラルに向けた施策」について、①鉄道事業に係るCO<sub>2</sub>排出量の削減（鉄道の脱炭素）、②鉄道アセットの活用によるCO<sub>2</sub>排出量の削減（鉄道による脱炭素）、③鉄道の利用促進によるCO<sub>2</sub>排出量の削減（鉄道が支える脱炭素）の3つの柱をご紹介いただきました。

技術報文では、都市鉄道・新幹線・保線・DX関係・安全設備・自動運転といった幅広い分野の最新技術について、ゼネコン、鉄道事業者、各種メーカーの皆様にご寄稿いただきました。

入稿や編集作業の時期が多忙な年度末であるにも関わらず、対応いただきました執筆者をはじめ関係された方々に、厚く御礼申し上げます。

(加取・内海)

### 4月号「地下・地中構造物特集」予告

・令和6年能登半島地震を踏まえた上下水道の地震対策・自動物流道路のあり方 中間とりまとめ・「浸水被害軽減に向けた地下空間活用のあり方」に関する提言・長距離・大深度・高水圧下でのシールド施工・超音波ソナーを活用した可視化システムのシールドマシンへの適用・次世代の道路構想「ダイバーストリート」のモックアップ構築事例・ニューマチックケーソン工法における新技術の導入・超高層ビルや大地下空間の建設現場に安定した通信環境を構築するシステム・地質評価AIを実装したデジタルツイン・アプリの開発と現場適用による実証・水路トンネルを自律走行し、高精度な画像を取得する水路調査ロボット(Tunnel-Rover)を開発・生産性の向上を目的とした地下空間用新型鋼管柱の開発と実用化・社会インフラ保守の高度化と環境負荷軽減に向けた取り組みのご紹介・掘削工事における写真測量技術を活用した出来形管理の生産性向上

### 【年間定期購読ご希望の方】

- ①書店でのお申し込みが可能です。お近くの書店へお問い合わせください。  
②協会本部へのお申し込みは「年間定期購読申込書」に必要事項をご記入のうえFAXをお送りください。

詳しくはHPをご覧ください。

年間定期購読料(12冊) 10,032円(税・送料込)

## 機関誌編集委員会

### 編集顧問

今岡 亮司	加納研之助
後藤 勇	新開 節治
関 克己	田中 康之
田中 康順	中岡 智信
渡邊 和夫	見波 潔

### 編集委員長

中野 正則 日本ファブテック(株)

### 編集委員

吉田 真人	国土交通省
大津 太郎	農林水産省
内海 友介	(独)鉄道・運輸機構
岡本 直樹	(一社)日本機械土工協会
丹 秀男	鹿島建設(株)
田村 憲	大成建設(株)
藤井 攻	清水建設(株)
桐山 茂雄	(株)大林組
出口 明	(株)竹中工務店
宮川 克己	(株)熊谷組
松本 清志	(株)奥村組
京免 継彦	佐藤工業(株)
加取 新	鉄建建設(株)
副島 幸也	(株)安藤・間
松澤 享	五洋建設(株)
那須野陽平	東亜建設工業(株)
佐藤 裕	日本国土開発(株)
丑久保吾郎	(株)NIPPO
室谷 泰輔	コマツ
山本 茂太	キャタピラージャパン
花川 和吉	日立建機(株)
丹治 雅人	コベルコ建機(株)
漆戸 秀行	住友建機(株)
大竹 博文	(株)加藤製作所
田島 良一	古河ロックドリル(株)
鈴木 健之	施工技術総合研究所

### 事務局

(一社)日本建設機械施工協会

## 建設機械施工

第77巻第3号(2025年3月号)(通巻901号)

Vol.77 No.3 March 2025

2025(令和7)年3月20日印刷

2025(令和7)年3月25日発行(毎月1回25日発行)

編集兼発行人 金井道夫


印刷所 日本印刷株式会社

発行所 本部 一般社団法人 日本建設機械施工協会

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内

電話(03)3433-1501; Fax(03)3432-0289; <https://jcmanet.or.jp/>

施工技術総合研究所	〒417-0801 静岡県富士市大淵 3154	電話(0545)35-0212
北海道支	〒060-0003 札幌市中央区北三条西2-8	電話(011)231-4428
東北支	〒980-0014 仙台市青葉区本町3-4-18	電話(022)222-3915
北陸支	〒950-0965 新潟市中央区新光町6-1	電話(025)280-0128
中部支	〒460-0003 名古屋市中区錦3-7-9	電話(052)962-2394
関西支	〒540-0012 大阪市中央区谷町2-7-4	電話(06)6941-8845
中国支	〒730-0013 広島市中区八丁堀12-22	電話(082)221-6841
四国支	〒760-0066 高松市福岡町3-11-22	電話(087)821-8074
九州支	〒812-0013 福岡市博多区博多駅東2-4-30	電話(092)436-3322

本誌上への広告は  有限会社 サンタナ アートワークス までお申し込み、お問い合わせ下さい。

〒103-0013 東京都中央区日本橋人形町2-21-5 井手口ビル4F TEL: 03-3664-0118 FAX: 03-3664-0138

E-mail: san-mich@zam.att.ne.jp 担当: 田中